



令和5年2月3日

静岡市長 田辺 信宏 様

静岡市民有志
代表者 岡田 真理
ほか41名

静岡市を本拠地とするプロ野球新球団創設に向けた提言書

日頃より、我がまち静岡市、そして私たち静岡市民のためにご尽力くださり、心より感謝申し上げます。

さて、ご存知の通り、令和4年11月に一般社団法人日本野球機構（NPB）が「ファームリーグ拡大構想」として、NPBイースタン・リーグとウエスタン・リーグに2024シーズンから参加する2球団の公募を来春実施する、との方針を公表しました。その中でNPBは、当該構想を検討するきっかけとなったのが、ハヤテインベストメント株式会社が静岡市を本拠地とする新球団のファームリーグ参加を申し出たことであった、としています。そのハヤテ社が同年12月に「静岡を本拠地に、2024年春にイースタン・リーグ参加を目指す」との意向を表明し、同月の市長定例記者会見において、田辺市長も「積極的に検討する」として、NPB・ハヤテ社の構想に呼応されています。

そこで、野球・スポーツを愛し、また、野球を通じた我がまちの発展を心より願う私たち市民有志一同は、静岡市を本拠地とするプロ野球球団創設の実現に向け、清水庵原球場本拠地化の検討を進めている貴市に対し、次のとおり提言致します。

まず捉えるべきこととして、プロ野球は、様々な面で大きなポテンシャルを有するスポーツコンテンツです。そのポテンシャルを有するプロ野球の新球団が静岡市に創設されれば、様々な効果が生まれると見込みます。

例えば、新球団創設によって野球振興が進み、スポーツへの関心が高まれば、子どもたちの健全育成が期待できます。プロ野球選手のプレーを間近で観られる機会が増えれば、子どもたちに夢を、子育て世代に家族との交流機会を、高齢者に生きがいを与え、多世代間の新たな“共通言語”を生むことにも繋がります。言うなれば、球場があらゆる方々の地域拠点、つまり“居場所”となり、その意味では、球団は福祉的な存在になるとも言えるでしょう。また、新球団のホームゲーム開催によって県内外から人々の往来が生まれれば、コロナ禍で大変な局面にあった旅行業・飲食業等への経済効果や、様々な業界への新たなビジネスチャンスも期待できます。

他方、新球団が創設されることにより、地域課題が生じることも認識しています。

第一に考えられるのは、清水庵原球場周辺の交通渋滞や迷惑駐車、騒音など、庵原地区にお住まい・お勤めの方々へ影響です。新球団のホームゲームが開催される際には、近隣住民が安心・安全に暮らすことができる環境を保持することが必要です。



第二に、清水庵原球場は現在、小学生からご高齢の方々まで、地元アマチュア野球のメイン球場となっています。地元アマチュア団体の方々こそが、地域スポーツを支える大切な存在ですので、その競技環境が損なわれることのないよう、適切な対応を講じていく必要があると考えます。

よって、貴市においては、ホームゲーム主催者である新球団に対し、これらの課題に十分留意した球場利用・興行開催を行うよう要請していただき、また、貴市としても対応・支援すべき点があれば、必要な都度、適宜実施していただきたいと思います。

さて、静岡市には現在、Jリーグの清水エスパルスや、Bリーグのベルテックス静岡をはじめとしたホームタウンチームが活動しています。それらのチームに加え、プロ野球球団が新たに創設されれば、「スポーツのまち静岡」としての発展が大いに期待されます。サッカー・バスケットボール・野球という3大プロスポーツリーグに加盟する3チームが相互に連携し、時には切磋琢磨しながら成長していくことは、地域にとって大変望ましいと考えます。

その上で、静岡市の積年の懸案として、新サッカースタジアム・多目的アリーナの整備があると認識しています。新サッカースタジアムは、関係者・有識者による検討委員会での議論を経て最有力候補地を選定し、また、アリーナは東静岡駅北口の市有地を整備地とし、今後具体的に動いていくと伺っています。ぜひ、貴市においては、清水エスパルスとベルテックス静岡の本拠地となるスタジアム・アリーナの整備も積極的に推進し、清水庵原球場も含めたプロスポーツ3拠点を軸とした地域活性化を、力強く進めていただきたいと思います。

今回、静岡市にプロ野球新球団の創設が実現すれば、国民的文化財であるプロ野球の力を最大限活用し、ポストコロナ期における全国の先駆けとなるスポーツを活かした地域活性化策となると確信しています。静岡市においては、NPB・ハヤテ社の発意を踏まえ、地元野球団体や庵原地区住民をはじめとした静岡市民や、地元企業・団体、静岡県・周辺市町とも連携しながら、他地域にはない静岡市独自の取り組みとして、清水庵原球場の本拠地化を推し進め、静岡市を本拠地としたプロ野球新球団の創設を下支えしていただけるよう、提言致します。

本提言書は要望や嘆願などの類ではなく、「プロ野球新球団の創設のためには、いかなる努力も惜しまない」という、我々市民有志の宣言です。書面に名を連ねているのは私たち42名ですが、実際には私たち以外にも「静岡球団が欲しい、協力したい」という市民が数多く存在することは間違いありません。私たち市民有志と、球団創設を希望する多くの市民は、田辺市長をはじめとした貴市職員や関係者の皆様とともに、夢の実現に向けて最善を尽くす所存です。